

理科部会	10月19日・20日	安達 上川崎小	200	・新しい理科学習指導計画による単元指導の実践研究（新教材の効果的な学習指導）
音楽科部会	9月28日・29日	北会 鶴城小	200	・創造性を高める基礎指導をどのようにしたらよいか。
図工科部会	10月19日・20日	西白河 白河二小	200	・児童の造形感覚をのばし、個性豊かな表現力を高める指導はどうあればよいか。
家庭科部会	10月19日・20日	双葉 檜葉北小	150	・被服の領域における効果的な学習指導法の研究をどうしたらよいか。
体育科部会	10月19日・20日	伊達 保原小	50	・体育学習の評価のうち運動技能の評価をどのようにしたらよいか。
道徳部会	10月19日・20日	石川 中谷一小	100	・指導計画の吟味とその活用をどのようにすればよいか。
特別活動部会	10月19日・20日	両沼 柳津小	200	①特別活動の全体計画と問題点 ②効果的な学級指導 ③遠足的行事の効果的な運営
視聴覚部会	9月29日・30日	いわき 湯本二小	600	・学習指導の効率を高めるため、視聴覚（教育機器）をどう組織したらよいか。
教育評価部会	10月19日	福島 福島二小	150	・児童の創造性（創造力）をどのように評価すればよいか。
○地区研究協議会	11月17日	地区ごと16ヶ所	全 会 員	・研究テーマに基づく地区の研修を含める。 ・県研究協議会の報告討議 ・次年度のテーマの検討
○研究集録発行	2 月			・各校に一冊及び希望者に配布
○研究調査	年 間	各研究部及び各地区会ごと	全 会 員	・県研究主題および地区研究課題についての調査、研究、報告など。

2. 福島県中学校教育研究会

(1) 財政及び組織の状況

役職名	氏 名	在 勤 校	会員数	昭和46年度 決算額	左の内県 費補助額
			人	円	円
会 長	瀬 戸 春 雄	福島一中	5,295	7,844,472	1,490,000
副会長	菅 原 重次郎	二本松一中			
"	清 水 正 雄	磐 梯 中			
"	星 久 好	郡山二中			
"	矢 沢 一	浪 江 中			
監 査	大 内 勇 一	中村二中			
"	佐 藤 イセ	仁井田中			
"	石 田 茂 樹	喜多方三中			
委 員	天 野 幸 夫	福島二中			
"	鈴 木 正 一	梁 川 中			
"	小 板 橋 大 三	鏡 石 中			
"	五 十 嵐 浩	石 川 中			
"	上 野 一 郎	三 春 中			
"	深 谷 浩 基	白河中央中			
"	山 本 仁 一	棚 倉 中			
"	堀 新 三 郎	塩 川 中			
"	穴 沢 武 正	坂 下 一 中			

"	星 喜 平	田 島 中			
"	西 恭 三	平 一 中			
"	安 良 恒 三	中 村 一 中			
理 事	神 野 忠 雄	郡 山 三 中			
"	山 内 兵 衛	附 属 中			
"	青 柳 登 立	立 子 山 中			
"	小 野 弘 三	川 俣 中			
"	清 野 清 藏	信 夫 中			
"	泉 田 安 治	福 田 中			
"	鈴 木 善 兵 衛	大 鳥 中			
"	羽 田 正 悦	平 野 中			
"	山 村 太 郎	錦 中			
"	遠 藤 伊 雄	醸 芳 中			
"	高 橋 六 郎	飯 野 中			
幹 事	和 田 忠 信	北 信 中			
"	尾 形 藤 治 郎	吾 妻 中			
"	小 野 弘 三	川 俣 中			
"	武 藤 義 男	西 信 中			
"	遠 藤 金 之 介	伊 達 中			
"	青 柳 登 立	立 子 山 中			

(2) 事業の概要

事 業 名	開 催 期 日	開 催 場 所	参加者数	研 究 主 題
1. 研究大会 ○各支部研究協議会 (16支部)	8月18・19日を基準として、その前後に開催。	各支部ごと会場を設定する。	各支部 会員全員	基本的研究主題 「教科の本質にせまる授業をどのように組織すればよいか。 同上主題にもとづいて、各支部ごと研究の推進をはかる。
○福島県中学校教育研究協議会	10月12日(木) 13日(木)	福 島 市 県文化センター 市内各中学校	名 1,440	基本的研究・主題により、各部会（11部会）の年次ごと研究・主題（今年は第3年次で最終年次）を設定して、研究授業および研究発表にもとづいて研究・討議する。